

科目ナンバー	ARS-1-003-k		科目名	東南アジア論		
教員名	西館 崇		開講年度学期	2020年度 前期	単位数	2
概要	東南アジアはよく、文化的にも、宗教的にも、そして社会的にも多様であると言われます。しかし、東南アジアの国々は具体的に、それぞれどのような点で異なっているのでしょうか。人々が着ているもの、食べているもの、さらに大切にしていることにはどのような違いがあるのでしょうか。また、私たちの住む日本と東南アジアは歴史的にどのような関係を築きながら、現在に至っているのでしょうか。本講義は、東南アジアについて初めて学ぶため学生の入門です。東南アジアを構成する諸国を様々な角度から紹介しながら、各国の成り立ちについて考察します。					
到達目標	本講義の到達目標は、(1)東南アジア諸国の特徴や歴史的背景についての概要を理解する、(2)東南アジア諸国と日本との関係を理解する、(3)海外フィールドワークや留学、NGO活動などを行うにあたり、対象となる国・地域についての基礎的な知識を習得する、ことの3点です。					
「共愛12の力」との対応						
識見		自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力
共生のための知識	○	自己を理解する力		伝え合う力		分析し、思考する力 ○
共生のための態度	○	自己を抑制する力		協働する力		構想し、実行する力
グローバル・マインド		主体性	○	関係を構築する力		実践的スキル
教授法及び課題のフィードバック方法	基本的にはパワーポイントや各種視聴覚教材を用いた講義形式で行いますが、ゲスト講師を呼んでのワークショップや、グループディスカッションなども取り入れる予定ですので、履修者には主体的かつ積極的な授業への参加が望まれます。また、全講義を通して計3回のミニテストを実施します。ミニテストは、履修者の本授業における到達目標を確認するほか、最終的な成績評価にも用います。					
アクティブラーニング	○	サービ斯拉ーニング			課題解決型学修	
受講条件 前提科目	特にありません。					
アセスメントポリシー及び評価方法	評価は次の配分で行います。 ・授業への参加度:20% ・ミニテスト(3回):30%(10%×3回分) ・期末試験:50%					
教材	岩崎育夫著(2017)『入門 東南アジア近現代史』(講談社現代新書)講談社。ISBN10:4062884100					
参考図書	今井昭夫・東京外語大学東南アジア課程編著(2014)『東南アジアを知るための50章』明石書店。 柿崎一郎著(2011)『東南アジアを学ぶ「メコン圏」入門』筑摩書房。 鶴見良行著(1995)『東南アジアを知る一私の方法』岩波書店。 藤巻正己・瀬川真平編著(2009)『現代東南アジア入門[改定版]』古今書院。 ユーグテルトレ・他著(2018)『地図で見る東南アジアハンドブック』原書房。 他、講義中に関連文献を適宜紹介します。					
内容・スケジュール						
1週目						
授業学修内容	イントロダクション 講義全体のテーマや概要、評価基準の説明などを行います。					
授業外学修内容	講義の終わりに、教科書から次の講義までに読んでくる箇所を指示します。				時間数	3
2週目						
授業学修内容	国歌と国旗に込められた思い 東南アジア各国の国歌と国旗について紹介すると共に、それぞれの国の成り立ちやその社会の概要について説明します。					
授業外学修内容	講義の終わりに、教科書から次の講義までに読んでくる箇所を指示します。				時間数	3
3週目						
授業学修内容	東南アジアの主要都市 東南アジアの主要都市といえば、皆さんはどの国のどの都市を思い出しますか。各国の首都を概観しつつ、それらを比較すると何が見えてくるのでしょうか。東南アジアの主要都市から、東南アジアの現在について考えます。					
授業外学修内容	講義の終わりに、教科書から次の講義までに読んでくる箇所を指示します。				時間数	3

4週目			
授業学修内容	「映画」から考える東南アジア(1) 日本人にとって身近な娯楽の一つである映画。では東南アジア諸国では、どのような映画が上映されているのでしょうか。東南アジアの各国で人気の映画を紹介しながら、その特徴などについて考えます。		
授業外学修内容	講義の終わりに、教科書から次の講義までに読んでくる箇所を指示します。	時間数	3
5週目			
授業学修内容	「映画」から考える東南アジア(2) 東南アジアをテーマや背景にした映画の中で、東南アジア諸国はどのように描かれているのでしょうか。ハリウッド映画などで登場する東南アジアと実際の東南アジアとの違いを考えます。		
授業外学修内容	講義の終わりに、教科書から次の講義までに読んでくる箇所を指示します。	時間数	3
6週目			
授業学修内容	「食」から考える東南アジア 東南アジアの人々はどのようなものを好んで食べているのでしょうか。日本でいう地域の伝統料理や「お母さんの味」は、東南アジアの人々にとってどのような食べ物なのでしょう。東南アジアにおける食事情について説明します。		
授業外学修内容	講義の終わりに、教科書から次の講義までに読んでくる箇所を指示します。	時間数	3
7週目			
授業学修内容	「服装」から考える東南アジア 人々の服装や外見から、東南アジアの文化や宗教の多様性について考えます。		
授業外学修内容	講義の終わりに、教科書から次の講義までに読んでくる箇所を指示します。	時間数	3
8週目			
授業学修内容	「王族・王宮」から考える東南アジア(1) 東南アジア各地には、伝統的な王族と王宮が残っています。こうした王宮は、東南アジア独自の芸能や食事、芸術などを生む母胎となってきました。東南アジアの王宮と文化について考えます。		
授業外学修内容	講義の終わりに、教科書から次の講義までに読んでくる箇所を指示します。	時間数	3
9週目			
授業学修内容	「王族・王宮」から考える東南アジア(2) 前回につづき、東南アジアの王宮と文化について考えます。		
授業外学修内容	講義の終わりに、教科書から次の講義までに読んでくる箇所を指示します。	時間数	3
10週目			
授業学修内容	「宗教」から考える東南アジア(1) 東南アジアに残る「王宮」「王族」と文化との関係を踏まえながら、東南アジアの宗教とその成り立ちについて学びます。		
授業外学修内容	講義の終わりに、教科書から次の講義までに読んでくる箇所を指示します。	時間数	3
11週目			
授業学修内容	「宗教」から考える東南アジア(2) 前回につづき、東南アジアの宗教とその成り立ちについて学びます。		
授業外学修内容	講義の終わりに、教科書から次の講義までに読んでくる箇所を指示します。	時間数	3
12週目			
授業学修内容	「ことば」から考える東南アジア 東南アジアは多種多様な「言語のるつぼ」と言われます。では、東南アジアでは具体的にどのような言葉が話されているのでしょうか。人々の話すことばから東南アジアについて考えると共に、言語政策のあり方について説明します。		
授業外学修内容	講義の終わりに、教科書から次の講義までに読んでくる箇所を指示します。	時間数	3
13週目			
授業学修内容	「リーダー」から考える東南アジア(1) 東南アジアには世界に誇る有名な政治・経済的リーダーが存在しました。本講義では、日本と東南アジア諸国との関係を踏まえながら、特にスカルノとスハルトについて取り上げ、二人について説明します。		
授業外学修内容	講義の終わりに、教科書から次の講義までに読んでくる箇所を指示します。	時間数	3

14週目			
授業学修内容	「リーダー」から考える東南アジア(2) 前回につづき、日本と東南アジア諸国との関係を踏まえながら、東南アジア各国の「リーダー」について説明します。本講義では、特にマハティール・モハマドとリー・クアンユーについて取り上げ、二人について説明します。		
授業外学修内容	講義の終わりに、教科書から次の講義までに読んでくる箇所を指示します。	時間数	3
15週目			
授業学修内容	「リーダー」から考える東南アジア(3) 前回につづき、日本と東南アジア諸国との関係を踏まえながら、東南アジア各国の「リーダー」について説明します。本講義では、特にホー・チ・ミンとアウン・サン・スー・チーについて取り上げ、二人について説明します。		
授業外学修内容	本講義全体を振り返りながら、各自の学びについて整理する。	時間数	5
上記の授業外学修時間の合計		47	
その他に必要な自習時間		43	

Number	ARS-1-003-k	Subject	South East Asian Studies		
Name	西舘 崇(Nishitate Takashi)	Year and Semester	First semester for 2020	Credits	2
Course outline	This course introduces students to a brief overview of the history, politics, cultures, and economics of South East Asia. It also offers students a chance to know 1) several political leaders in the region especially focusing on the era of nation-building right after the WWII, 2) a regional institution such as ASEAN and its related organizations, and 3) historical ties between ASEAN and Japan.				